

平成25年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	平和利用イニシアティブ基金拠出金 (任意拠出金)		担当部局庁	軍縮不拡散・科学部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度開始		担当課室	国際原子力協力室		室長 別所 健一		
会計区分	一般会計		政策・施策名	基本目標Ⅶ：国際分担金其他諸費 具体的施策Ⅶ-1：国際機関等を通じた政務及び安全保障分野に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項		関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	開発途上国等における原子力の平和的利用(発電及び非発電分野双方)における国際原子力機関(IAEA)の活動を支援する。また、核軍縮・不拡散分野における先進国と途上国の協力関係を促進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平和利用イニシアティブは、平成22年5月、NPT運用検討会議において、クリントン米國務長官が原子力の平和利用分野におけるIAEA活動を支えるための財源として設立をよびかけ、設立されたもの。このイニシアティブの下で、原子力発電導入基盤整備等の原子力発電分野、非原子力発電分野(環境、水資源、鉱工業、食品、農業、健康等における放射線の利用)及びこれらの利用の安全・セキュリティに係る分野(放射線防護等)のIAEAプロジェクトを実施。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	312	284	287	288	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	312	284	287	288	
	執行額	-	312	284	-	-		
	執行率 (%)	-	100	100	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	成果目標は原子力の平和的利用の促進と、核軍縮・不拡散分野での先進国と途上国の協力関係の促進を図ること。本実績のはかり方は、イニシアティブ参加国数。		成果実績	国数	-	12	12	12
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	選定・実施したプロジェクト数。		活動実績 (当初見込み)	プロジェクト数	- (-)	20 (20)	19 (19)	- (19)
単位当たりコスト	15百万円/1プロジェクト		算出根拠	総予算(284百万円)÷予定プロジェクト数(19) (なお、本件は任意で行う国際貢献であるところ、各国の拠出額は、経済力に応じたものであることが適当であり、我が国のGDPは米国の約3分の1であるので、米国の拠出額(1年分)のおよそ3分の1相当額を拠出するもの。)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	拠出金	287	288	本拠出金に関しては、「新しい日本のための優先課題推進枠」288				
	計	287	288					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	我が国政府がIAEAを通じて開発途上国に対し、技術協力をを行うものであり、地方自治体及び民間等に委ねるべき事業ではない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	プロジェクトの選定に当たっては、IAEA事務局及び関係国と緊密に調整の上、我が国として必要性等を判断している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本件は、対象国の関心を踏まえ柔軟な対応が可能となっており実効性の高いものとなっている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<p>本件事業については、IAEA事務局及び関係国とも緊密に調整の上、国内外で関心の高まっている原子力安全や特に途上国から関心を寄せられている環境、食品等の分野において効果的な事業の実施を行ってきている。</p>				
外部有識者の所見					
-					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	引き続き、予算の効率化や経費の節減の余地が無いか確認していく。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	新23-5	平成24年	125